

項 目	月 日	内 容
応募締め切り	4月30日	62カ国、600作品の応募がある。
第1次審査会	5月24日	東京都千代田放送会館にてスライド審査を行い、20カ国60作品が選ばれる。
第2次審査会	7月26日	洞爺村総合センターにて行い、大賞など、受賞作品が決定する。
F氏賞村民投票	8月1日～3日	小野寺直彦氏「次元境界上の祭禮」が選ばれる。
ピエンナーレ2005 展覧会	9月23日 ～10月23日	第2次審査会を通過した20カ国60作品を展示。過去最高の入場者数4,077名を記録。
大賞作家を囲む会	9月24日	洞爺村総合センターにて大賞作家キフ・パネッテ氏を囲む座談会を行う。
審査委員長との 鑑賞・講演会	10月 1日	展覧会場にて審査委員長の笹野尚明氏より、作品を見ながら作品の講評を聞いたり、作品について自由に質問する会を催す。
閉館の集い	10月23日	企画50人委員会スタッフが集まり、展示会最終日に展示作品の見納めをする。

▽道道整備並びにまちづくり 交付金事業に係る洞爺村単 独要望活動の実施及び要望 先からの回答等について

本村の重要な課題について、
去る九月八日に胆振支庁（室
蘭土木現業所、同洞爺出張所

を含む）、十一月四日には北海道建設部、北海道開発建設部、北海道開発局事業振興部及び北海道地方環境事務所に本村の最重要項目である次の三点について、洞爺村単独要望活動を行って参りましたので、これらの要望項目の現在における要望先からの回答等についてご報告申し上げます。

①道道洞爺虻田線（洞爺湖ぐるっと一周西回り線）の早期整備について

洞爺村が独自に調査を行い、整備の方法について道路図に定規図、写真を添付するなど膨大な資料を作成して、提案型の要望を関係機関に行いましたところ、要望先からは「このような要望方法ははじめて」とのこと、北海道建設部、胆振支庁、室蘭土木現業所及び同洞爺出張所からは、ともに「とにかく何とかするようにしましょう。」との力強いお言葉をいただいたところであり、好意的に受け止めていただきました。

特に、青洲付近の崖等の地質調査につきましては、平成十八年度に行っていたけるとのお話しを伺っておりましたが、今月初旬に前倒しをして平成十七年度に実施していただけるとの連絡を受けたところであります。

また、札幌の北海道地方環境事務所におきましては、要望直後の十一月十一日に所長が来村され、全線に至る現地調査を実施していただいたところであります。

②道道豊浦洞爺線（洞爺村市街地間）の交通安全施設（湖側の自歩道）の早期着工について

室蘭土木現業所より、市街地の湖側の歩道整備事業として来年事業着工の予算措置がなされたと、お話を伺っております。

また、工事につきましては、バス停香川入口から市街地の方に向かい、事業を行うとのことでありあります。

③洞爺村市街地地区のまちづくり交付金事業の採択と事業の推進について

今後の地域振興を念頭に、国土交通省所管のまちづくり交付金事業の採択を昨年度より、道・国等の関係機関に要望を重ねて参りましたところ、十一月四日に北海道建設部より「ほぼ採択が決定」とのお話を伺いました。総事業費は六億五千万円で、期間は、平成十八年度から平成二十二年までの五カ年間で実施することになっております。

以上のように、これまで私も本村の重要な課題といまして、要望して参りました三点につきまして、大きく前進したものと考えているところであります。

▽胆振西部・豊浦町森林組合の合併予備調印について

昨年十一月から合併協議が進められてきた胆振西部森林組合と豊浦町森林組合の合併

予備調印式が、十一月二十一日に胆振西部六市町村長・胆振支庁長の立会のもと、伊達市防災センターで行われました。

長期の林業不況と価格低迷の中、合併することで、北海道森林組合育成指導方針に定められた「中核森林組合」の認定を受け、経営基盤の強化を図ることになります。

両組合は、来年春の通常総会で、それぞれ合併を承認し、五月に合併申請、七月一日に合併登記を行うこととなっております。

なお、合併後の名称は胆振西部森林組合とし、本所を大滝村に置き、支所を豊浦町に置くことになっていきます。

記

対象地区 室蘭市・登別市・伊達市・虻田町・豊浦町・壮瞥町・洞爺村・大滝村
組合員 六百九十八人
組合加入面積 一四、七七八ha